指定管理者制度導入施設の状況と業務評価結果

1　施設概要と状況

施設名	三瓶自然館及びその附属施設					
指定管理者	(公財)しまね自然と環境財団					
設置目的	三瓶山およびその周辺地域の豊かな自然の中に、自然と親しむ場を確保し、あわせて自然環境に関する学習機会を提供するため					
所在市町村	大田市		設置年度（三瓶自然館）	H3	利用料金制	有
施設規模(三瓶自然館)	敷地面積	14,822.00㎡	建物延床面積	8,513.00㎡	指定管理者制度導入年	(H17)

利用の動向	H20	H21	H22（実績）	H22（見込み）	趨勢
入館者数（人）	134,956	138,231	144,629	134,000	

収支構造（千円）	H20	H21	H22（実績）	H22（見込み）	趨勢（使用料等）
施設の総収入	374,625	378,687	292,678		
うち指定管理料	304,500	304,500	257,775		
施設の総支出	374,939	378,687	289,706		
使用料・入館料収入等	29,408	24,185	25,198	18,455	

H23.4.1職員数（人）	
正規	39
その他	15
合計	54

※入館者数、入館料収入は三瓶自然館のみ集計。収支構造には附属施設を含んでいる

2　業務評価結果

評価項目	評価
共通項目	
運営上の基本的事項	
管理運営	
設置目的の達成	a
平等利用等公の施設としての配慮	a
運営に対する意欲	b
広報事業等に係る事項	
広報事業・利用促進事業等	
計画性、PR・誘客効果	b
関係者、他施設等との連携	b
施設運営に係る事項	
管理運営の内容	
危機管理体制	b
利用者対応（苦情対策、トラブルの未然防止、要望の把握・対応）	b
管理物件の維持管理	
維持管理の状況	a
サービス実施体制に係る事項	
組織体制	
人員配置体制（責任体制、配置）	a
人材育成	
職員研修の実施	b

評価項目	評価
共通項目	
サービス実施体制に係る事項	
コンプライアンス体制	
法令遵守体制（個人情報保護ほか）	b
財政基盤・財務	
財政状況の健全性	b
収支状況（事業計画との比較）	b
経理処理	b
各種帳簿、関係書類の整備	b
固有項目	
企画事業、調査研究事業等	
特別企画展の実施	a
自然保護に関する啓発等	a
調査研究事業	b
博物資料の収集・保管・活用	b
三瓶地域への貢献度	
三瓶地域における地域貢献度	a
総合評価	A

項目評価の目安

a：業務を適切に実施し、目標を上回る達成度（2点）
b：業務を適切に実施し、概ね目標を達成（1点）
c：不適切な業務実施／目標を大きく下回る（0点）

総合評価の目安

S：実績が協定書の内容や目標を上回り、優れた管理がおこなわれたもの（80%以上）
A：概ね協定書等の内容どおりの管理が行われており、適正な管理が行われたもの（50～80%未満）
B：実績が協定書等の内容や目標を下回り、さらなる工夫、努力及び改善が必要なもの（30～50%未満）
C：管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善が必要なもの（30%未満）

評価コメント

プラネタリウムのリニューアル効果及び企画展やフィールド活動等の実施により、H17年度の指定管理者制度導入以来最高の入館者数となった。また、県外で重点的に行った広報活動が認知度や入館者数の増加に効果を出している。さらに、地域の民間施設や小中学校との連携した活動が増え、地域への貢献度が高まってきている。

施設管理については、専門業者と職員の連携により、きめ細やかなメンテナンスが行われている。調査研究事業では、新種の昆虫「クロゲンセイ」の発見など、事業の成果が認められる。